

規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	同一敷地内にはサービス付き高齢者向け住宅、特定施設入居者生活介護、認知症対応型居宅介護などがあり、安心して地域の中で生活が出来るような様々なサービスを提供しています。県民せいきょう福祉理念である「あなたらしさいつまでも」をもとに、「10の基本ケア」に取り組み、ひとりひとりの望む暮らしが実現していけるように取り組んでいます。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 江守きらめき	管理者	芝 里美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	人	人	1人	人	4人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画をみんなで共有し振り返りや事業所評価について理解し、しっかりと職員同士意見を出し合い話し合います。出来ていなかったことを改めて見直し、再度取り組みさらに再評価することで意識を高めていきます。	情報共有の改善を行い、ミーティングなどで特に新規利用者の情報を共有する時間を必ず持つようにしたことで、受け入れ前や受け入れ時の利用者や職員の不安の軽減につながった。	・職員によってばらつきが見られることがある。 ・日中にいない職員・スポット勤務・アルバイトにも同じように細かなケア対応などの共有が出来ていない時があった。	事業所評価について話し合い意見を出し合い取り組みます。職員同士のコミュニケーションを図り、チームで協力して業務がスムーズに行えるよう取り組みます。
B. 事業所のしつらえ・環境	江守きらめき事業所の見学や利用体験などを積極的に行っていきます。SNS で利用者の日常の様子やきらめきの活動を見てもらえるように案内していきます。また SNS 発信が出来る職員を増やすため説明や勉強会を行います。	新規相談の方の見学対応などを行い、利用する前にきらめきを知ってもらい、利用に対する要望や事業所が出来る内容の相互確認を行うことが出来た。SNS 委員会を発足させ、SNS 発信が出来る職員を増やす取り組みを目指していたが、職員の異動や人員体制不足もあり事業所として十分に出来ていなかった。	・見学対応や利用に対する要望と事業所が出来る内容の相互確認を行うことが出来たことはよかった。 ・業務や体制が不安定な時は発信できないこともあった。 ・会議室には来ているが、江守きらめきの中を見たことがないので詳しく分からない。	江守きらめきの事業所の見学対応を引き続き積極的に行っていきます。SNS 委員会を中心に計画的に学習会などを開催し、発信のできる職員を増やして偏りや職員の負担がないよう取り組みます。
C. 事業所と地域のかかわり	「江守ピンピンカラダ塾」を継続して行い、地域の方にも参加してもらえるように声掛けを行います。江守きらめきに住んでいる方、利用している方、地域の方と楽しめる活動を計画していきます。また地域のイベントにも参加していきます。	「江守ピンピンカラダ塾」毎週月曜と木曜開催が定着しています。下期からは地域の方数名の参加もあり楽しく活動しています。地域のスティックリングの利用も再開されています。ハーツ学園（第1木曜）ハーツ羽水（第3木曜）に羽水きらめきと合同で「きらめき保健室」を開催し、介護相談や気軽に立ち寄れる話が出来居場所づくりの活動、事業所としては「介護者のつどい」を年4回開催しました。	・江守ピンピン体操が継続できているのは良いと思う。 ・地域の方にも再度案内するとよい。 ・活動からきらめきを知ってもらえる。 ・利用者や入居者、地域の方が参加できる楽しい活動を増やしていきたい。 ・	「江守ピンピンカラダ塾」「きらめき保健室」「介護者のつどい」を継続して行います。江守きらめきに住んでいる方、利用者、地域の方も楽しめる活動を一緒に考え計画していきます。地域のイベントや活動にも江守きらめきを知っていただけるように参加していきます。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	利用者・家族との対話を大切にしながら、どう過ごし暮らしていきたいのかということを本人はもちろん家族も含めて話し合える関係づくりに取り組みます。地域の民生委員さんや近所の方との関係づくり、地域資源の活用を取り入れた支援に取り組みます。	プランに地域とのかかわりを持つように組んでいて、利用者によって違うが、自宅の中の様子や地域との関係性もある程度把握出来てきている。地域との関係づくりが積極的にならなかったことと利用者ごとの社会資源の把握が不十分だった。	・在宅生活を支援するため地域との関わり、社会資源の把握に取り組んでいきたい。 ・外出する機会をもっと作って事業所の外に行けるよう取り組みたい。	利用者・家族との対話を大切にしながら想いをしっかりと聴き取ってチームで共有して関わります。地域資源の活用を取り入れ、いつまでも住み慣れた地域での在宅生活が継続できるように支援していきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議に地域の方やご家族が参加してもらえるように案内をしっかりと行い、いろいろな意見がもらえる場になれるよう、気軽に相談してもらえる事業所を目指します。	運営推進会議を通じて、江守きらめきの状況や活動の報告や取り組みをお伝えすることは出来ました。運営推進会議の案内を行うがご家族の参加がなかなか難しいところもあった。	・地域でどんな問題があって、何が必要なのかをもっと知っていききたい。 ・会議に地域の方や家族に参加してもらいたい。	運営推進会議を通じて地域での問題や状況をお聞きし、江守きらめきができる事を考えて取り組みます。会議へ地域の方や家族が参加していただけるようしっかりと案内を行っていきます。
F. 事業所の 防災・災害対策	風水害や地震の時の対応や防災計画の説明も含めた防災の勉強会を行い、職員一人一人が理解し対応できるように努めます。	風水害や地震などの災害などに備え、備蓄品の整備、防災計画の説明や訓練などを行うことが出来ました。消防訓練や防犯訓練、災害時の食事作りなども行い災害に備え職員が理解できるように努めました。	・色々な想定の実験や学習会をこれからもしていきたい。 ・AED訓練は地域の方にも発信していきたい。	いつ起こるかわからないため災害や防災や防犯に備えた訓練や学習会を行い緊急時に行動できるように取り組みます。